260803_第8回松本市交通政策検討委員会　意見要旨

1　第7回松本市交通政策検討委員会の振り返り
資料配布のみ

2　次期総合交通戦略の策定に向けた検討について

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
1	【森委員】 ・「えきまえエリアビジョン」や「松本駅周辺交通ターミナル機能強化構想」と、今回の総合交通戦略との位置づけを明確にしてほしい。	【事務局】 ・両計画は重要な関連計画として総合交通戦略に包含する。基本的な考え方の「ポイント⑤えきしろ空間の再活性」をえきまえエリアビジョン、「ポイント⑥交通結節拠点の再構築」を交通ターミナル機能強化構想の内容として整理している。
2	【植松委員】 ・松本市を長野県の「極」と表現しているがどのような意味合いか。他都市は極ではないのか。	【事務局】 ・県内で中心的な位置づけとなる拠点を「極」と表現している。松本市及び長野市を長野県の極として想定している。松本駅は県内外からの来訪を受け止める玄関口として位置づけている。

3　「第2　目指す将来像と交通の役割」について

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
1	【高瀬会長】 ・資料にある「誰一人取り残さず」という表現は、どのように扱うのか。上位計画の趣旨に合わせ、一人一人が暮らしやすいという意味合いにしてほしい。	【事務局】 ・他資料を含め、「誰一人取り残さず」という表現は削除し、上位計画の趣旨に沿った表現へ修正する。

4　「第3　目指す将来像に対する交通の課題」について

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
1	【高瀬会長】 ・学生の送迎について、送迎の有無だけでなく、通学、習い事等の目的や移動時間帯まで分析し、課題を把握してほしい。 ・高齢者について、自動車の有無による外出率だけでなく、送迎を受けられているかなど、実態を深掘りしてほしい。 ・休日の買物・レジャーについて、出発時刻と帰宅時刻から、まちなかでの滞在時間や回遊状況を分析できるのではないか。	【事務局】 ・いただいた意見を参考に、学生や高齢者の移動に関する実態や、まちなかでの回遊行動等を、パーソントリップ調査データを用いてさらに分析し、課題1～5との関係を整理する。

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
	・最後のページに示された交通の課題 1～5 につながる分析をさらに出してほしい。	
2	【長野国道事務所　宮崎室長（小林委員代理）】 ・進学期（10代後半）が転入超過である一方、就職期の20代（特に女性）は首都圏への転出が多いことを問題としているが、どこが課題と認識しているか。 ・自然災害への対応を新たな戦略のどこに位置づける想定か。	【事務局】 ・基本計画では、安定した人口構造を目標に定め、そのために若者・女性の定着が必要としている。首都圏への転出が多いという実態を踏まえ、松本に住み続けてもらうための交通軸の整理や、松本に戻ってきやすいように、車がなくても生活できるまちづくりが必要と考え、課題としてとらえている。 ・現時点では、位置づけられていない。課題と戦略が結びつくよう整理していきたい。
3	【高瀬会長】 ・若者や女性の人口分析に用いたデータは住民基本台帳に基づいているか。例えば松本市外に進学した大学生でも住民票を松本市に残している可能性があるのではないか。	【事務局】 ・若者や女性の人口データは住民基本台帳に基づくため、実態との乖離に留意して追加整理を行う。
4	【北山委員】 ・平田駅の整備により、鉄道利用者が増えたのであれば、自動車への依存が低下したといえるのではないか。駅間隔を狭くできれば、移動機会は増えるのではないかと考える。	【事務局】 ・平田駅はパークアンドライド施策も進めており、利用が多い。自家用車から鉄道への乗換え促進や他地域での拠点整備も検討したい。
5	【タクシー協議会　古田次長（三澤委員代理）】 ・タクシーは乗務員不足が課題で、供給は新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の 8 割程度にとどまる。採用年齢を引き上げているが、採用後の定着が難しい状況である。	【事務局】 ・いただいたご意見は、交通の課題を分析する際の参考とする。
6	【古川委員】(※委員会終了後に提出された意見) ・過去の委員会の資料をみると、防災の観点が取り上げられていた。「市を取り巻く環境の変化と見通し」の視点⑦で触れられているが、交通の役割で言及してもよいのではないか。 ・次回委員会も移動実態について報告予定とのことだが、今後どのように分析を進める／深める予定なのか。可能であれば、①目指すくらしの姿に引き付けた分析、②交通結節拠点と地域拠点・生活拠点との間の移動（松本市にお	【事務局】 ・いただいたご意見は、交通の課題を分析する際の参考とする。

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
	ける中心部と周辺部との間の移動)、各拠点を中心としたエリア内の移動についての分析はどうか。 ・現戦略の資料を拝見すると、様々なデータから交通の現状について示されている。過去の委員会で示されており、また今回は時間の制約もあって絞った内容になっているかもしれないが、個々のデータの特性を踏まえて、総合的に交通の課題を整理する必要がある。	

5　「第４　将来像の実現に向けた戦略・施策」について

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
1	【渡邉委員】 ・公共交通の担い手不足が課題の1つとして挙げられているが、資料5に記載されている施策に反映されているか。	【事務局】 ・資料5で示している施策は現計画のものを参考に記載しており、今後、課題と施策が適切につながるよう再整理する。
2	【森委員】 ・広域鉄道網の利用促進として、リニア中央新幹線を踏まえた対応が必要ではないか。 ・計画の目標年次など、短期・中期・長期の時間軸を設定して管理する必要がある。	【事務局】 ・リニア中央新幹線は重要な要素であると考えており、開業を踏まえた施策を総合交通戦略に盛り込みたい。 ・計画期間は概ね今後10年を見通し、施策について短期から長期までの時間軸を整理する。
3	【高瀬会長】 ・今後のスケジュールでは、委員の意見を踏まえて計画案を決定するのか。	【事務局】 ・次回委員会で施策案を提示して意見を聴取し、その後、戦略全体の構成を検討する。次々回にはパブリックコメント案を提示する。
4	【古川委員】(※委員会終了後に提出された意見) ・「計画通り／記載と概ね同様の取り組みを実施」となっているにもかかわらず、成果指標に結び付いていない項目がある。この背景・要因をどう捉えているか。それも踏まえて打ち出す戦略・施策を考える必要があるのではないか。 ・「戦略1　誰もが移動できる機会の確保」は市域全体を対象としているが、エリアごとに「機会の確保」の仕方は異なると思われる。より踏み込んだ施策を示す必要がある。	【事務局】 ・いただいたご意見は、次期総合交通戦略の施策を検討する際の参考とする。

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
5	【片野委員】(※委員会終了後に提出された意見) ・「戦略1　誰もが移動できる機会の確保」や「戦略2　多様な移動手段が選べる環境づくり」に関連して、交通手段の整備に加え、利用方法や運行情報などを分かりやすく伝える「情報提供」の面も充実すると、より利用しやすくなる。具体的には、以下の3点 ➢ 学生ワークショップでも、「バスの正確な遅延情報を知りたい」といった声があった。自身も「信州ナビ」で、バスの位置や時刻表、路線をまとめて確認でき、便利であった。現在も「ぐるっとまつもと」でバスの位置情報を確認できるが、必要な情報をまとめて確認できると、初めて利用する方や学生にとっても利用しやすい。 ➢ 学生ワークショップで「駐輪場の情報を知りたい」という意見が出ていた。市で設置を進める小規模駐輪場についても、情報がより多くの方に届くと、利用につながると感じる。 ➢ 高齢の方のキャッシュレス決済への戸惑いや、バスに乗り慣れていない方など、「使い慣れていないこと」が利用へのハードルになる場合がある。自身も、以前シェアサイクルのサドル調整がうまくできず、利用を諦めた経験がある。利用方法を事前に知ることができるなど、初めての方が安心して利用できる工夫も重要。 ・こうしたことから、交通手段そのものの整備だけでなく、利用者が必要な情報を得て、安心して「使ってみよう」と思えるような情報提供も、次期戦略の中で考えていただきたい。	【事務局】 ・いただいたご意見は、次期総合交通戦略の施策を検討する際の参考とする。